

科目名	地理B	単位数	3	必修選択	選択
教科書	新詳地理B (帝国書院) 地歴高等地図 ―現代世界とその歴史的背景― (帝国書院)				
副教材	世界の諸地域NOW (帝国書院) ウイニングコンパス地理の整理と演習 (東京法令出版)				

### 教科・科目の内容

高校で学ぶ「地理」には「地理A」と「地理B」があります。「地理B」では世界の地理的な諸課題を、地域性を踏まえて考察します。「地理A」に比べ内容は深く、地理的なものの見方や考え方を培います。

具体的な内容は地図・地球儀の使い方から始まり、グラフの読み取りから現代世界の地域性や動向を作業的な内容を通してとらえ、地球的規模の課題への考察に発展していきます。

### 日常生活や将来とのつながり

「地理」は学際的な学問と言われます。それは歴史・産業・民俗・社会・自然科学・交通などあらゆる分野に関係をもつ学問だからです。元々、農耕や戦争、統治のために、各地の情報を調査してまとめるための研究領域として成立したので、現在の「地理学」も当然、内容が広範囲に渡ります。よって普段から多角的なものを見方をするような探究心がなければ成り立ちません。

日常生活において、食卓に並ぶ食べ物や、身近にある製品がどこで作られたものなのか、そしてそれがどのようなルートを通して自分のもとにきたのかを考えることで自分と世界の繋がりを感じることが出来ます。人・モノの移動はグローバル・ボーダレスが当たり前ですが、「地理」の授業では教材は身近なところから始まり、発展させて世界との繋がりを考えていきます。

### この授業の学習方法(予習と授業の関わり)

普段から身近なモノに対して考える習慣を付けることです。駅の案内板が日本語と他言語で表示されている場合に殆どの方があまり気にすることも無く通り過ぎるかもしれません。しかし、その裏には在日外国人の増加など国際化が進展していることを意味します。これは一例に過ぎませんが普段から、生活環境の何気ないことに疑問符を持って観ることを心掛けてください。これが結果として『地理』とそれ以外の学問に結び付いてくるのです。

### 到達目標

現代世界の地理的事象を系統地理的に、現代世界の諸地域について歴史的背景を踏まえて地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

### 評価の観点(評価方法)

#### ① 関心・意欲・態度( 行動観察・プリント点検 )

歴史的・地理的事象に対する関心と課題意識を高め、意欲に追究するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責任を果たそうとする。

#### ② 思考・判断・表現( 定期試験・行動観察 )

歴史的・地理的事象から課題を見だし、我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色を世界的視野に立って多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。

#### ③ 技能( 行動観察・定期試験・問題演習 )

歴史的・地理的事象に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。

#### ④ 知識・理解( 定期試験・問題演習 )

我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。

指導学年	科目名	単位数	教科書名(出版社)	副教材名
3年	地理B	3	新詳地理B(帝国書院) 地歴高等地図 ー現代世界と その歴史的背景ー(帝国書院)	世界の諸地域NOW(帝国書院) ウイニングコンパス地理の整理と 演習(東京法令出版)

学期	学習内容	主な学習活動(指導内容)と評価のポイント	評価の観点			
			関	思	技	知
一 学 期	第1部 さまざまな地図と地理的 技能 第2部 現代世界の系統的地理的 考察 1章 自然環境 2章 資源と産業	様々な種類の地図の活用や地理情報の地図化などの活 動を通して地理的事象をとらえるための技能を身につ ける。  現代社会の地理的諸課題を自然環境や資源、産業など の項目別にとりあげ、空間的な規則性や傾向性、それ らの要因などを系統的に考察していく。そして、現代 社会の諸課題について地理的視点から理解し、持続可 能な社会の実現について考えていく。	○	○	○	○
	※ 試験			○	○	○
	3章 人口・村落・都市 4章 生活文化・民族・宗教	現代社会の地理的諸課題を人口、生活文化、都市、民 族、宗教などの項目別にとりあげ、空間的な規則性や 傾向性、それらの要因などを系統的に考察していく。 そして、現代社会の諸課題について地理的視点から理 解し、持続可能な社会の実現について考えていく。	○	○ ○	○ ○	○ ○
二 学 期	第3部 現代社会の地理的考察 1章 現代社会の地理的考察 2章 現代社会の諸地域 東アジア・東南アジア・ 南アジア・西アジア	第2部で考察した現代世界の系統地理的な特徴をふま え、視点を変えて地域的な枠組みから世界の各地域に ついて、歴史的背景をふまえて多角的・多面的に考察 し、地域の特徴や地域のかかえる課題を考えていく。	○	○		○
	※ 試験			○		○
	アフリカ・ヨーロッパ ロシア	第2部で考察した現代世界の系統地理的な特徴をふま え、視点を変えて地域的な枠組みから世界の各地域に ついて、歴史的背景をふまえて多角的・多面的に考察 し、地域の特徴や地域のかかえる課題を考えていく。	○	○ ○		○ ○
三 学 期	アングロアメリカ ラテンアメリカ・オセアニア	第2部で考察した現代世界の系統地理的な特徴をふま え、視点を変えて地域的な枠組みから世界の各地域に ついて、歴史的背景をふまえて多角的・多面的に考察 し、地域の特徴や地域のかかえる課題を考えていく。	○	○		○
	※ 試験			○		○

備考	【系列Ⅲ】地理演習(2単位)と同一集団の授業です。授業内容も連動して行います。
----	---